

# 風"s・風のたよりオンライン版

2001/2/17 No.41

第23回環境市民講座によれば「フェア・トレードってなあに？」というお話をしました。中小企業センター(名古屋駅)の7F会議室で10名が参加。午後1~4時でした。話の流れは.....

## ■風"s(ふ~ず)の紹介

「共に生きる」をテーマに、フェア・トレードの品、ハーブの品、授産所の品、循環型生活提案の品、未来食をテーマにした食の提案と材料、関連書籍、CDが風"sのちいさな仲間たちであること。店の名前を決めるまでのいきさつと、小売店である風"sの仕入れ方、東京のフェア・トレードの団体が発展途上国からどのように仕入れているかの話をして、製品が作られてから、お客さまの手に届くまでの流れを説明しました。

## ■フェア・トレードの紹介

発展途上国の自立支援を目的として、ヨーロッパともアメリカともいわれていますが、1960年代に始まったようです。

相手の立場を考えて、対等な立場で貿易をする。利益追求のみの自由貿易とは違う貿易で、オルタナティブ・トレードともいわれている。

材料を買うことも出来ない人には前金渡しもし、技術指導、市場調査、文化の発信や保護、伝統音楽の保存にあたり、環境や人権に配慮した生産工程は、食料も衣類も作るひと、食べるひと、着る人、そして大地や水を汚しません。

そんな生産者の暮らしなどの情報が雑貨・食品・衣類などに乗って消費者の手もとに届くのも特徴のひとつです。顔の見える貿易といわれています。

## ■私とフェア・トレードの出会い

だれにも今いるこの場にいたるドラマがあり、その主人公は誰でもなくこの私...と一人酔ってもしかたないけれど、いつも思うのは不思議な縁がひとつ、ひとつ手繰り寄せられるようにつながっていき、今の私があることを思い知る。

あの時、本屋にいかなかったら住井すゑさんの「人間(じんかん)宣言」という本に偶然出会えなかったし、その本を手にしなかったら、マルセ太郎をしらなかった

し、ガイアシンフォニーの映画のチケットを買いに行かなかったら、マルセ太郎のスクリーンのない映画館「息子」上演のチラシに出会わなかったし、それを見に行かなかったら東京渋谷のジアンジアン劇場でマルセ太郎が書いた劇「枯れない人々」を見に行くことを誘われなかったし、それを見に青春18きっぷで7時間かけ渋谷まででかけなかったら、グローバル・ヴィレッジの世田谷にある時の事務所を尋ねなかったし、尋ねたから「インドスタディツアー」にでかけ、フェア・トレードのお店も開くことが出来たわけです。

## ■地域通貨「な～も」静かに始動...

今回の講演料(2/17)は「な～も」で支払って頂きます。カナダのバンクーバーで10年前にはじまった地域通貨は、世界で2000、今日本で50ほど誕生しているといえます。

四日市では井上淳之典さんが地域通貨「ぽーと」を...というようなことも聞いています。

NHK出版の「エンデの遺言」を読んだ時、お金がお金を生むことの可笑しさ、死なないお金の不思議さ、お金もまた循環し命はてるものという考え方に、改めてお金の意味を考えました。

町の活性化、人との交流、自己をみつめることになる地域通貨はフェア・トレードと通じるところが大きいにあるねということで、閉幕！

## ■パズルと紐と引き出し

東京のフェア・トレード団体グローバル・ヴィレッジを尋ねるまでのパズルをひとつひとつはめて行くきっかけが、さらに8年くらいさかのぼります。

手繰り寄せる紐の先に見えたある日の出来事は、東南アジアの人々の生活を犠牲にして私達の食生活が成り立っていると知ったときのショック。それは子育て真っ最中の私に入ってきた世界の情報でした。そのショックはただ、バナナを買わなくなり、えびも買うことを止めただけでした。どうしようもなかったのです。

だから、女性起業セミナーでフェア・トレードの話聞いた時は、とても感動したのです。その日の出来事と結びついていると思いあたったのは、かなりたってからのことでしたが.....。記憶をたぐりよせていって気がつきました。

途上国の人たちを犠牲にすることなく、むしろサポートできるフェア・トレードという方法があると知った時はほんとうに驚きました。でも、だからといってすぐフェア・トレードに向かって大ばく進したというわけでもなく、これがまた不思議な縁がかさなって、世田谷のグローバル・ヴィレッジの事務所にたどり着いたとい

ところにつながりるわけです。

また、私の奥のほうの引き出しに、母が「女でできる仕事だったらな〜」とつぶやいていた言葉が小さかった私の耳に残っていたという(これもずーっとあとから思いだしたことです)引き出しがあったからだと思います。家業は材木商だったのです。

\*\*\*\*\*

さて、予告！

★サフィア・ミニさんの講演は7月7日(土)午後です！

ゆっくり彼女の話聞きける機会はなかなかないと思います。私は希望しました。離れている名古屋だからこそ、サフィア・ミニさんのいままで歩いてきた道とこれから歩む道を語って欲しいと。

彼女が、名古屋の地で語って、その場にいることがどれだけ名古屋の地にその意思を継ぐ人が増えることか.....わたしは期待します。名古屋がもう一つのフェア・トレードの核になったらいいなと願っています。また一人の女性の生き方としてもとても興味があります。

GAIAの会で日本での「フェア・トレードの来た道、行く道」を語って頂こうと企画しています。

★いつもにここにこサフィアミニさん

バイタリティ・行動力は素晴らしいの一言。思いはあふれんばかり、また小さな二人のお母さん。初めて事務所を訪れた時は手作りのケーキをよばれました。二人目の子が生まれた時はお手伝いさんが来る前の時間で、授乳しながらの打ち合わせ。1997年5月に講演して頂いた時も、講演後授乳。サフィアさんのよきパートナーにうっとりとした参加者の感想もありました。彼女の講演中は、二人の子供を公園で遊ばせていた。夫さんは、銀行員で子どもの面倒も見、仕事でもよきパートナー、泊めて頂いた時に、仲のいいところもみてドキッと、またうらやましく思いました。

★7月7日は定員100名

すでに20名分キップ預かりたいと名乗り出た人あり！というわけで郵便振替とキップ(風"sにて)販売します。5月より予約開始します。

★7月7日空けておいてくださいね。

彼女が語る場にいるとしないと、それは全く違います。だからいて欲しいのです。同じ場を、同じ空気を共有したいのです。それがこれからの名古屋でのフェア・トレードの展開に大きな鍵が隠されていると思うし、またその場にいた人自身の生き方にも影響を与えることと私は思います。彼女にとってもグローバル・ヴィレッジを立ち上げて今年で10年目の節目です。売上が35～40%伸びていても、代金の50%は半年前に前払いという状況です。現地とのやりとりなどのなまなましいドラマがあると思います。なにより彼女の生き方が今、繰り広げられているフェア・トレードに関わる大ドラマです。

でもそれは彼女一人ではとても出来ない。スタッフがいて、それを支持する消費者がいなければ全く成り立たない。一緒に応援したいと思っています。そして満5歳になる風"s もどうぞよろしくお願いします。

★フェア・トレードとは....

フェア・トレードとは、発展途上国の有機栽培食品や手工芸品等を、公正な価格で取引し、仕事創りから技術支援もする、世界のNGO(非政府組織)を中心に繰り広げられている草の根交流です。より多くの人々が、フェア・トレードによる商品を選んで買うことが、発展途上国と共に生きる方向が見えてきます。

『GAIAの会』は、1996年5月発足。女と男、老人と若人、障害をもった人と今そうでない人、南と北の国の人、自然と人...「共に生きる」をテーマに互いに学び合いながら行こうとする誰でも気軽に参加できる会です。

---

[\[\[風のたより一覧へ\]\]](#)

[\[\[トップページへ\]\]](#)

---

電子メール：[huzu@cap.bekkoame.ne.jp](mailto:huzu@cap.bekkoame.ne.jp)

ウェブページ：<http://www.bekkoame.ne.jp/~huzu/>

風の交差点 風"s